

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

今回の活動報告では、令和6年12月、令和7年1月に行った訓練内容について報告いたします。

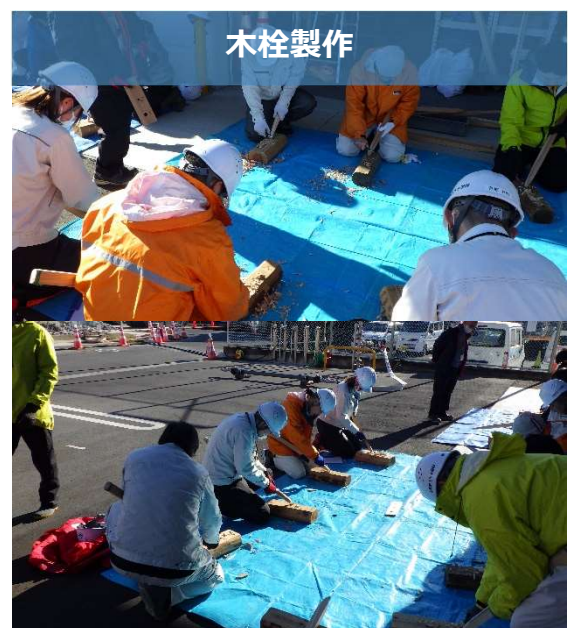
## 漏水修繕訓練（木栓による止水）を実施しました

具体的には、孔があいて漏水している水道管に木栓を直接打ち込み、応急的に止水する作業となります。災害や事故時など、急を要する場合に有効な手段となります。

(※) 本訓練にて使用した木栓とは、幅が4cm四方、長さ50cm程度の角材先端を、直径1.3~2cmに加工した漏水修繕用の木材のことを言います。「実動班」では、木栓の加工段階から訓練を行っております。



上尾市上下水道部庁舎敷地内にて全体説明後に製作開始（作業の注意点を解説）。





## 木栓打ち込みの順序



制作した木栓を、管体に滑らせながら、漏水箇所目掛けて挿入します。



挿入した木栓を体重をかけながら起こし、セットハンマーで打ち込みます。



ノコギリを使用し、鑄鉄管と平行に木栓を切断します。



最後に木栓で止水した箇所に当て板を被せ、番線で固定したら完成です。

※過去に仕切弁からの漏水を、実際に木栓を使用し止水を行った事例もあります。



これまでに、実働班員を対象とした**管洗浄（座学）**の訓練を実施してきましたが、漏水によって被害を受けるシチュエーションは無数にあります。

その為、様々な漏水のシミュレーションを職員が考え、問題作成を行い、訓練を行います。止水方法や、漏水で生じた水の濁りを解消する「管洗浄」の方法について、実働班員が2名1班となり、各班ごとにグループディスカッションを実施して発表しました。



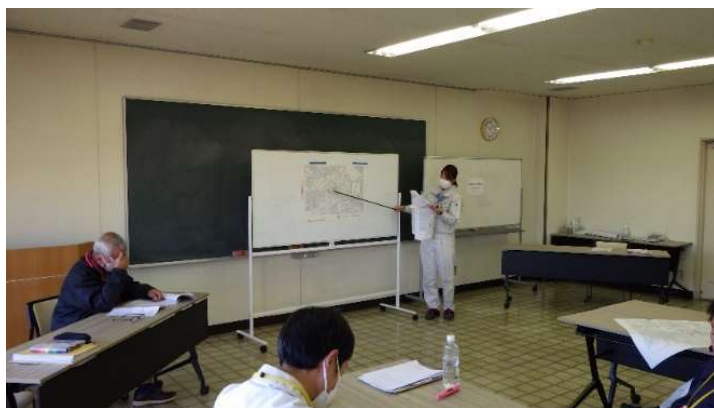
### 【止水及び管洗浄方法の検討】

漏水発生時に迅速な判断が必要とされることを想定し、あらかじめ設定された時間内でディスカッションを行います。

それぞれの班が考える、最適な止水及び管洗浄方法を検討します。

### 【各班発表】

各班で検討した、止水及び管洗浄方法を発表し、それぞれの班で検討した内容と比較、検討を行います。



### 【講師による説明】

経験豊富な講師より、各班で発表した、止水及び管洗浄方法について解説を行います。様々なシミュレーションを反復して訓練することにより、より迅速に濁水影響を抑える管洗浄を行えるよう訓練しています。





今年度、新たに実動班に入った職員の育成の為、管洗浄（実技）の訓練を実施してきました。具体的には、交差点内において配水管から漏水しているシチュエーションを前提に、指揮者の指示の下、仕切弁を操作し、開栓器から聞こえる音や振動をもとにどのぐらいの排水量となっているのか判断を行います。今回は、上尾市上下水道部独自で定めている試験、**管洗浄（実技）3級認定試験**を実施しました。

### 【試験開始】

指揮者の指示により、試験受験者は仕切弁の操作を行います。試験受験者は、走行してくる車に注意しながら、弁室の開閉、開栓器の設置、操作までを正しく行えるかを試験官が確認します。仕切弁の操作は、急な開閉やスピードにより、一歩間違えば濁水事故となりかねない大事な作業となります。上尾市民へ安心安全な水道水を配るため、こういった訓練を通して日々勉強しております。

### 試験の様子



### 【試験結果】

今年度新たに加わった実動班員は、これまでに管洗浄（実技）の訓練を計3回行ってきました。受験者全員、仕切弁の操作は一人で行えるまでに成長し、試験も無事全員合格という結果になりました！

≪その他の訓練≫

管洗浄（実技）訓練を実施

HIVP接合1級認定試験を実施

管洗浄座学訓練を実施